

年度評価シート

課名 中山間地振興課

施設の名称 静岡市藁科都市山村交流センター	指定管理者名 藁科都市交流センター運営委員会
1 履行状況	
<p>(1) 維持管理業務 業務仕様書及び事業計画書に従って管理業務を実施し、警備や清掃等について第三者委託により実施し、各業務とも概ね適切に履行されている。</p> <p>(2) 施設利用者数 指定管理（第4期）2年目、令和元年度の利用者は83,571人となり、台風や新型コロナウイルスの影響による臨時休館があったものの前年度78,342人と比較して6.7%の増となった。これは、キッズスペース、キッズパークなどによる祖父母を含めた3世代の客層の獲得や、ドッグラン、折り紙コーナーなどの定着、6月から月1開催となった「わらびこマルシェ」の実施が主な要因であると考えられる。</p> <p>(3) 事業実施状況 自主講座等の事業については、新型コロナウイルスの影響による中止もあったが、概ね事業計画のとおり実施されている。主催講座は年6回、交流・イベント講座は年20回開催し、延435人の参加があった。講座の参加者は年々増加傾向にあるが、今後も継続して参加者を確保していきたい。</p>	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）	
<p>利用者や地元町内会の要望から、ドッグランの表土入替え、季節ごとの館内の飾りつけ、交流室に座椅子を設置するなど、意見・要望に柔軟に対応している。</p> <p>お土産品の販売、卓球台の増設やマルシェ開催時の駐車場の確保などについては、今後の検討課題である。</p>	
3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価	
<p>利用者アンケートを実施した結果、施設の印象については「大変良い」、「良い」という評価が90%、また、職員の態度については「大変良い」、「良い」という評価が92%となっており、利用者からの要望が多様化する中、利用者の多くにとって満足を得られる施設運営がなされている。</p>	
4 指定管理者の経理状況の評価	
<p>指定管理業務の収支状況については、概ね予算どおりに執行されており、良好である。また、会計帳簿類も整理されており、適正な経理が行われている。</p> <p>省エネの実施として、デマンドコントローラーの活用による電気使用量の削減等を行っている。</p>	
5 総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）	
前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
利用者の年齢層が広がっている中、毎年、取組内容を見直し、新たな事業を展開して	

おり非常に評価できる。

特に、6月から月1回「わらびこマルシェ」を開催することで、地元住民に都市部の情報収集と購買機会を提供し、新規の来客を獲得している。

イベントや各種講座の開催、地域敬老会への貸し出し等により地域住民が集い、憩いの場としても活用されている。

また、子育て世代が施設を利用しやすい環境が整えられてきており、地域振興施設としての役割を十分に果たしている。

今後も奥藁科、奥大井方面へ向かう道路休憩施設としての役割も担い一層の活用が期待する。

新型コロナウイルス感染症への対応については、市の要請・協議に基づき、施設の休館、清掃、利用者からの問合せ対応等が適切に行われた。

この際の利用者への周知については、速やかに施設への掲示による周知やホームページへの掲出を行う等、適切な時期・方法により行われている。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。